

## 試料調整に必要な機材

### 1. 共通で使用する主な機器類

各調整を同時に進行する場合、複数台必要になる。

#### 試料の乾燥に使用する機器

空気循環式乾燥器：大型のもの。堆積有機物の乾燥に使用し 70℃に設定できるもの。

105℃に設定できれば定体積試料の乾燥にも使用可能。

恒温乾燥器：105℃に設定できるもの。

#### 試料の重量測定用天秤

上皿電子天秤：0.1g 単位で測定できるもの。最大秤量 5kg 程度が適当。

分析用電子天秤：0.1mg (=0.0001g) 単位で測定できるもの。

#### 土壌試料から細土、根、礫を分けるために使用する基本的な道具

円孔篩：孔径 2mm、直径 200mm 程度。篩と蓋・受け皿で 1 セット（写真右）。

メッシュの篩ではないことに注意。

磁製乳鉢：外寸 210mm 程度のものが良い（写真左）。

木製の杵：材質は桐が良い（写真中央）。



## 2. 各調整個別に必要な機器

堆積有機物試料の粉碎に使用

試料粉碎机：カッターミル式粉碎机など。

化学分析用の微粉碎試料作成に使用

粉碎机：擂潰機（ライカイキ）やボールミルなど。

乳鉢と乳棒（メノウ製が望ましいが磁製でも可）でも良い。

## 3. 調整の対象となる試料数に応じて複数必要なもの

乾燥用バット：堆積有機物試料は大きめ、 $400\text{cm}^3$ の定体積試料は小さめ。

蒸発皿、ビーカーなど：定積細土重測定時の根と礫の乾燥に使用する。

秤量ビン：直径3～5cm、高さ3cm程度のものが良い。

デシケーター：シリカゲル等の乾燥剤を使用。

チャック付ポリ袋：保存用試料用。縦170×横120×厚さ0.04mm程度のもの。